

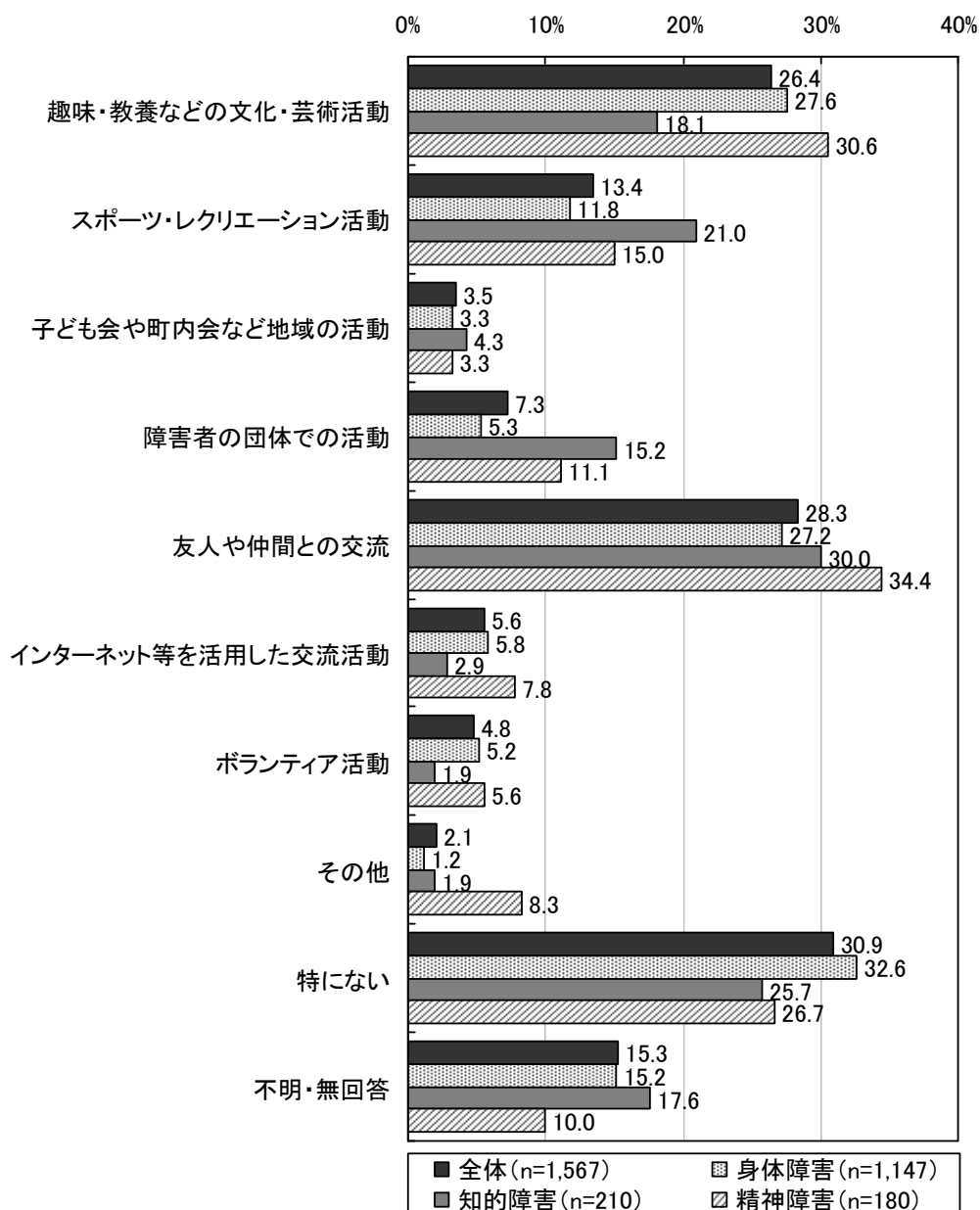
問18 今後の生活の中で、どのような面をもっと充実させたいですか。また、新たに始めたいことはありますか。(複数回答)

今後、充実させたい、あるいは新たに始めたいことについてみると、全体では「特にない」が30.9%と最も高く、次いで「友人や仲間との交流」が28.3%となっています。

障害種別で見ると、知的障害と精神障害では「友人や仲間との交流」が3割程度と最も高くなっているものの、身体障害では「特にない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、身体障害では40歳未満で「友人や仲間との交流」、40～69歳で「趣味・教養などの文化・芸術活動」、70歳以上で「特にない」が高くなっています。また、知的障害では10～19歳で「スポーツ・レクリエーション活動」、10～19歳を除く30歳未満で「友人や仲間との交流」、30歳以上で「特にない」が高くなっています。精神障害では「趣味・教養などの文化・芸術活動」「友人や仲間との交流」「特にない」が他の項目と比べて高くなっています。

介助の有無別では、介助なしでは「趣味・教養などの文化・芸術活動」、介助ありでは「特にない」が最も高くなっています。



■年齢別／介助の有無別

		n数	趣味・教養などの文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	子ども会や町内会など地域の活動	障害者の団体での活動	友人や仲間との交流
年齢別							
身体障害	10歳未満	13	15.4	30.8	15.4	15.4	46.2
	10～19歳	20	25.0	35.0	5.0	10.0	45.0
	20～29歳	16	25.0	0.0	6.3	0.0	43.8
	30～39歳	73	24.7	16.4	2.7	6.8	32.9
	40～49歳	65	35.4	13.8	3.1	6.2	26.2
	50～59歳	135	34.8	13.3	0.7	6.7	31.1
	60～69歳	328	31.7	14.3	2.7	5.2	28.4
	70～79歳	340	24.4	8.8	5.3	5.0	23.8
	80歳以上	134	19.4	6.0	0.7	3.0	18.7

		n数	インターネット等を活用した交流活動	ボランティア活動	その他	特にない	不明・無回答
年齢別							
身体障害	10歳未満	13	0.0	0.0	0.0	30.8	0.0
	10～19歳	20	5.0	5.0	0.0	20.0	10.0
	20～29歳	16	12.5	6.3	0.0	31.3	12.5
	30～39歳	73	13.7	4.1	1.4	24.7	20.5
	40～49歳	65	4.6	7.7	0.0	32.3	9.2
	50～59歳	135	8.9	7.4	2.2	25.9	7.4
	60～69歳	328	6.4	6.1	0.9	30.2	14.3
	70～79歳	340	3.8	5.0	0.9	37.1	16.5
	80歳以上	134	2.2	2.2	1.5	43.3	21.6

		n数	趣味・教養などの文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	子ども会や町内会など地域の活動	障害者の団体での活動	友人や仲間との交流
年齢別							
知的障害	10歳未満	24	33.3	33.3	8.3	16.7	50.0
	10～19歳	51	31.4	35.3	5.9	13.7	31.4
	20～29歳	35	17.1	22.9	5.7	20.0	40.0
	30～39歳	49	10.2	12.2	4.1	16.3	28.6
	40～49歳	30	0.0	6.7	0.0	10.0	20.0
	50～59歳	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	60～69歳	6	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		n数	インターネット等を活用した交流活動	ボランティア活動	その他	特にない	不明・無回答
年齢別							
知的障害	10歳未満	24	4.2	0.0	8.3	8.3	8.3
	10～19歳	51	2.0	2.0	0.0	19.6	5.9
	20～29歳	35	5.7	5.7	0.0	31.4	5.7
	30～39歳	49	4.1	0.0	2.0	32.7	22.4
	40～49歳	30	0.0	0.0	3.3	23.3	40.0
	50～59歳	7	0.0	0.0	0.0	28.6	57.1
	60～69歳	6	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	n数	趣味・教養などの文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	子ども会や町内会など地域の活動	障害者の団体での活動	友人や仲間との交流	
年齢別							
精神障害	10歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10～19歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	23	43.5	30.4	13.0	8.7	39.1
	30～39歳	49	40.8	18.4	0.0	12.2	34.7
	40～49歳	56	30.4	14.3	5.4	16.1	42.9
	50～59歳	24	16.7	8.3	0.0	8.3	20.8
	60～69歳	15	20.0	6.7	0.0	0.0	46.7
	70～79歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	n数	インターネット等を活用した交流活動	ボランティア活動	その他	特にない	不明・無回答	
年齢別							
精神障害	10歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10～19歳	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	20～29歳	23	21.7	4.3	8.7	8.7	0.0
	30～39歳	49	6.1	4.1	16.3	18.4	8.2
	40～49歳	56	7.1	10.7	7.1	30.4	7.1
	50～59歳	24	8.3	0.0	0.0	37.5	25.0
	60～69歳	15	0.0	0.0	6.7	20.0	13.3
	70～79歳	6	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

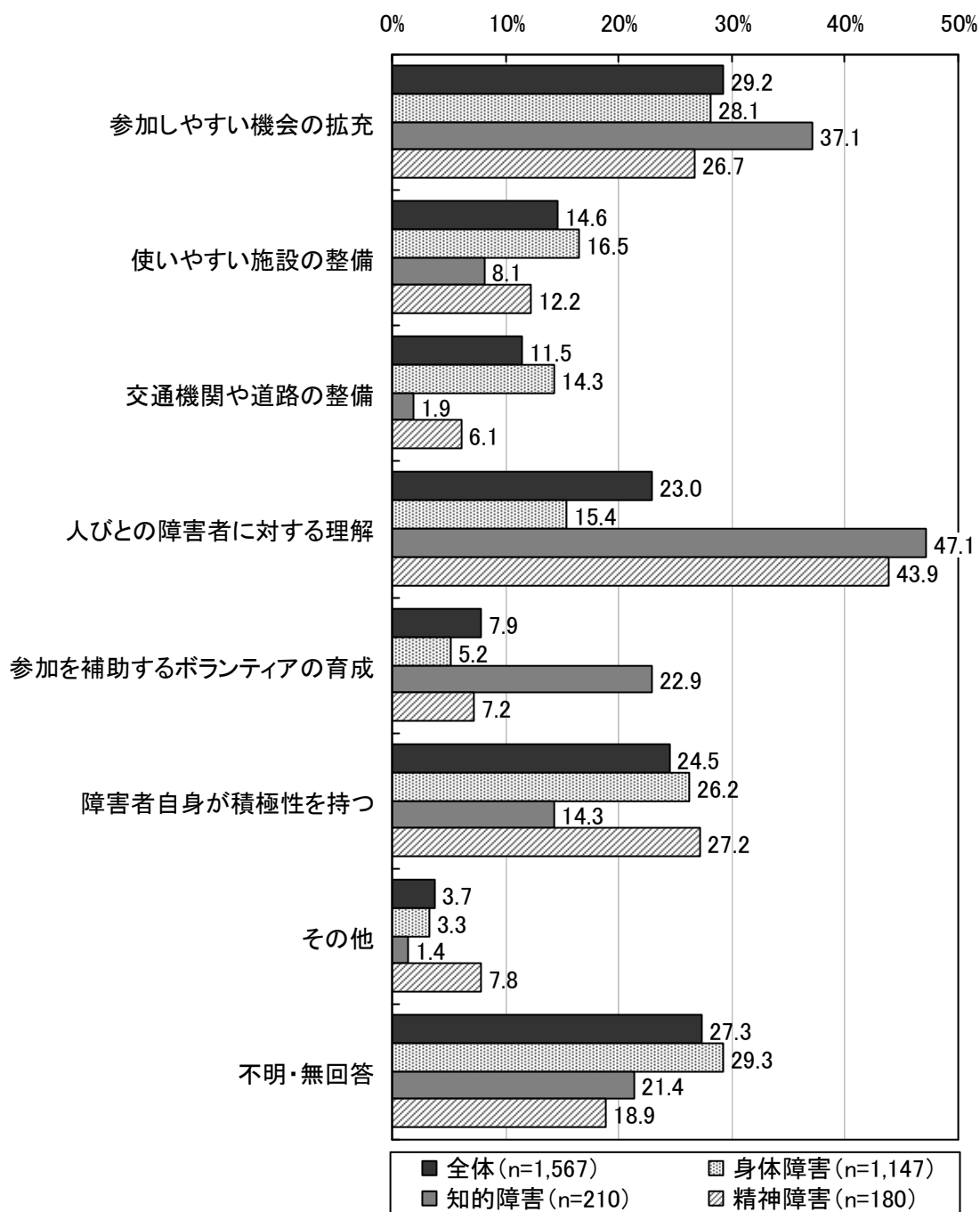
	n数	趣味・教養などの文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	子ども会や町内会など地域の活動	障害者の団体での活動	友人や仲間との交流	
介助の有無別							
全	介助なし	847	32.7	14.4	3.5	5.0	28.8
体	介助あり	619	20.4	12.4	3.7	11.1	29.6

	n数	インターネット等を活用した交流活動	ボランティア活動	その他	特にない	不明・無回答	
介助の有無別							
全	介助なし	847	7.2	6.3	1.3	31.4	10.7
体	介助あり	619	3.9	3.2	3.4	31.0	16.8

問19 あなたが、地域や社会に積極的に参加できるようにするため、特に大切なことは何ですか。(複数回答)

地域や社会に積極的に参加できるようにするために大切なことについてみると、全体では「参加しやすい機会の拡充」が29.2%と最も高く、次いで「障害者自身が積極性を持つ」が24.5%となっています。

障害種別でみると、知的障害と精神障害では「人びとの障害者に対する理解」が4割を超えて最も高くなっているものの、身体障害では「参加しやすい機会の拡充」が最も高くなっています。



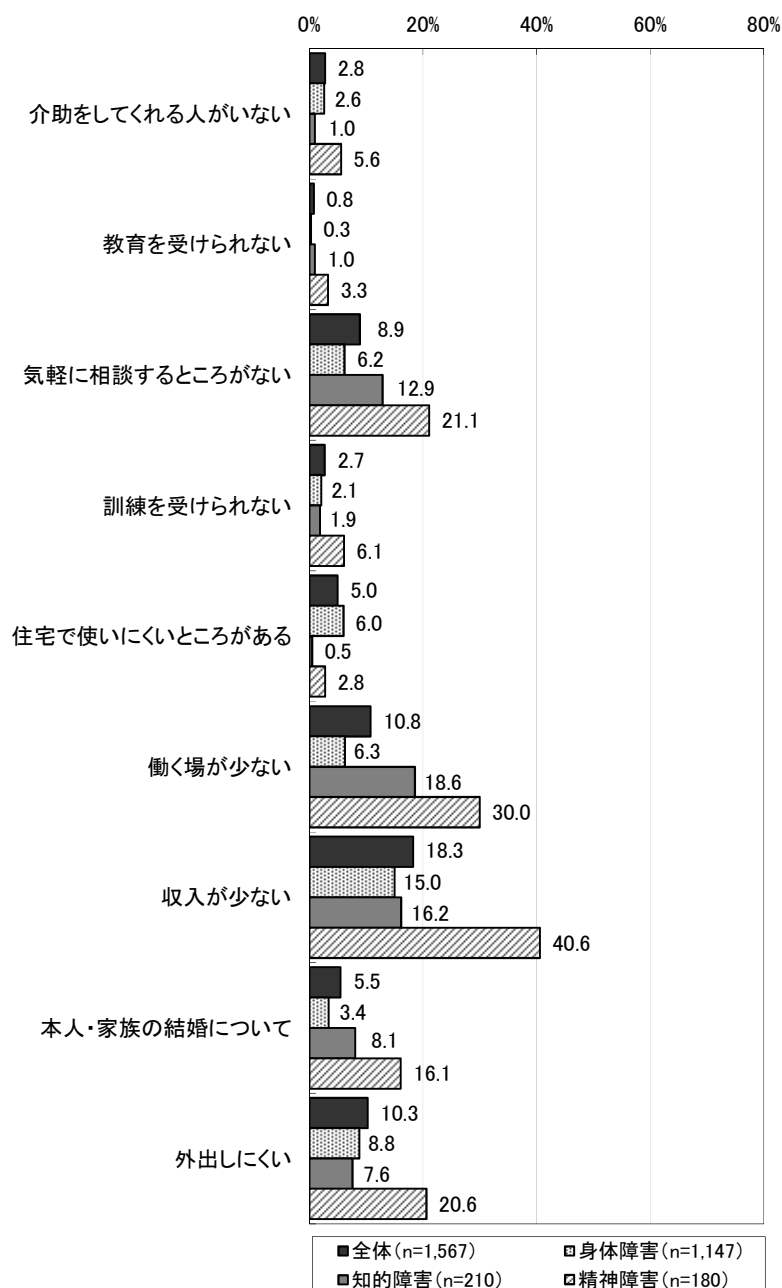
5 ふだんの生活の困りごとなどについてうかがいます

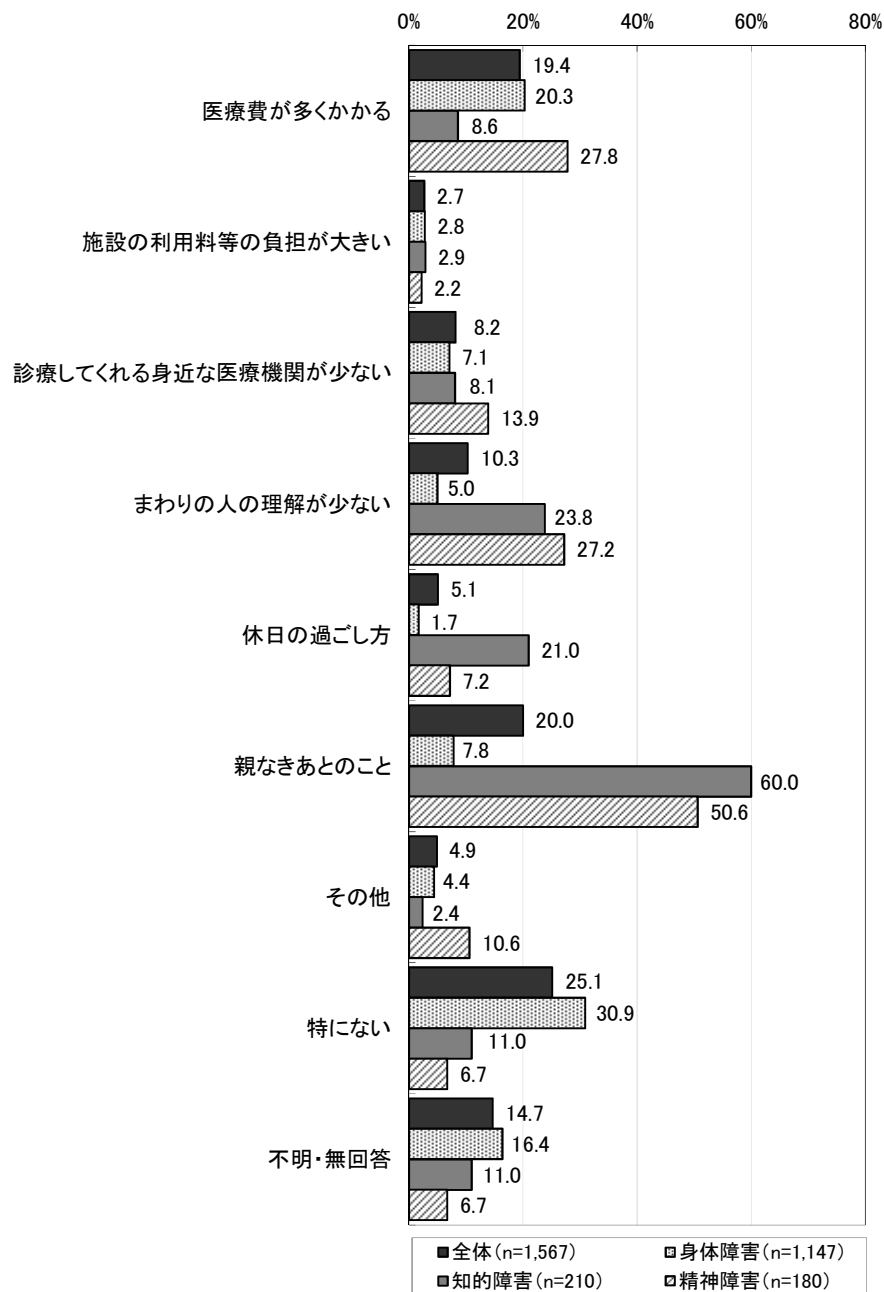
問20 あなたは、現在の生活で困っていること、あるいは不安を感じていることはありますか。(複数回答)

現在の生活で困っていること、不安を感じていることについてみると、全体では「特にない」が25.1%と最も高く、次いで「親なきあとのこと」が20.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害と精神障害では「親なきあとのこと」が5割から6割と最も高くなっているものの、身体障害では「特にない」が最も高くなっています。また、精神障害では「収入が少ない」や「働く場が少ない」といった就労にかかる課題もみられます。

年齢別にみると、身体障害では40歳未満で「親なきあとのこと」、50歳以上で「特にない」が高くなっており、知的障害では60歳未満で「親なきあとのこと」が最も高くなっています。また、精神障害では50歳未満で「親なきあとのこと」が最も高く、50～79歳で「収入が少ない」「医療費が多くかかる」が他と比べて高くなっています。





■年齢別

	n数	介助をして くれる 人がいない	教育を受け られない	気軽に相 談するこ ろがない	訓練を受け られない	住宅で使 いにくいと ころがあ る	働く場が 少ない	収入が少 ない	本人・家 族の結婚 について	外出しにく い	
年齢別											
身体障害	10歳未満	13	0.0	0.0	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7
	10～19歳	20	0.0	0.0	15.0	5.0	5.0	15.0	10.0	15.0	5.0
	20～29歳	16	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5	12.5	37.5	12.5
	30～39歳	73	5.5	1.4	0.0	4.1	6.8	15.1	17.8	13.7	9.6
	40～49歳	65	3.1	0.0	10.8	3.1	10.8	12.3	30.8	9.2	18.5
	50～59歳	135	3.7	0.0	9.6	1.5	9.6	14.8	19.3	0.7	9.6
	60～69歳	328	2.1	0.0	4.9	1.8	6.7	5.8	16.8	2.4	6.4
	70～79歳	340	2.9	0.6	5.9	1.5	4.1	2.1	12.9	1.2	9.4
80歳以上	134	0.7	0.0	5.2	2.2	3.0	0.7	6.7	0.0	7.5	

	n数	医療費が 多くかか る	施設の利 用料等の 負担が大 きい	診療してく れる身近 な医療機 関が少な い	まわりの 人の理解 が少な い	休日の過 ごし方	親なきあ とのこと	その他	特にない	不明・無 回答	
年齢別											
身体障害	10歳未満	13	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	38.5	0.0	38.5	0.0
	10～19歳	20	5.0	10.0	30.0	0.0	5.0	25.0	5.0	10.0	20.0
	20～29歳	16	18.8	12.5	12.5	6.3	0.0	43.8	0.0	12.5	12.5
	30～39歳	73	11.0	6.8	6.8	5.5	4.1	43.8	8.2	19.2	11.0
	40～49歳	65	18.5	3.1	7.7	13.8	6.2	24.6	7.7	13.8	10.8
	50～59歳	135	20.0	0.7	3.7	11.1	3.0	8.1	3.0	34.8	7.4
	60～69歳	328	25.9	1.5	5.5	3.4	0.3	0.9	4.0	32.3	15.5
	70～79歳	340	18.8	2.6	7.1	3.5	1.8	2.6	3.5	32.9	20.3
80歳以上	134	19.4	3.7	10.4	3.0	0.7	0.7	5.2	35.8	23.1	

	n数	介助をして くれる 人がいない	教育を受け られない	気軽に相 談するこ ろがない	訓練を受け られない	住宅で使 いにくいと ころがあ る	働く場が 少ない	収入が少 ない	本人・家 族の結婚 について	外出しにく い	
年齢別											
知的障害	10歳未満	24	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	12.5	0.0	16.7	8.3
	10～19歳	51	2.0	2.0	27.5	2.0	0.0	33.3	9.8	9.8	15.7
	20～29歳	35	2.9	0.0	14.3	2.9	0.0	28.6	34.3	20.0	5.7
	30～39歳	49	0.0	2.0	6.1	0.0	0.0	12.2	22.4	0.0	4.1
	40～49歳	30	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	10.0	20.0	3.3	3.3
	50～59歳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

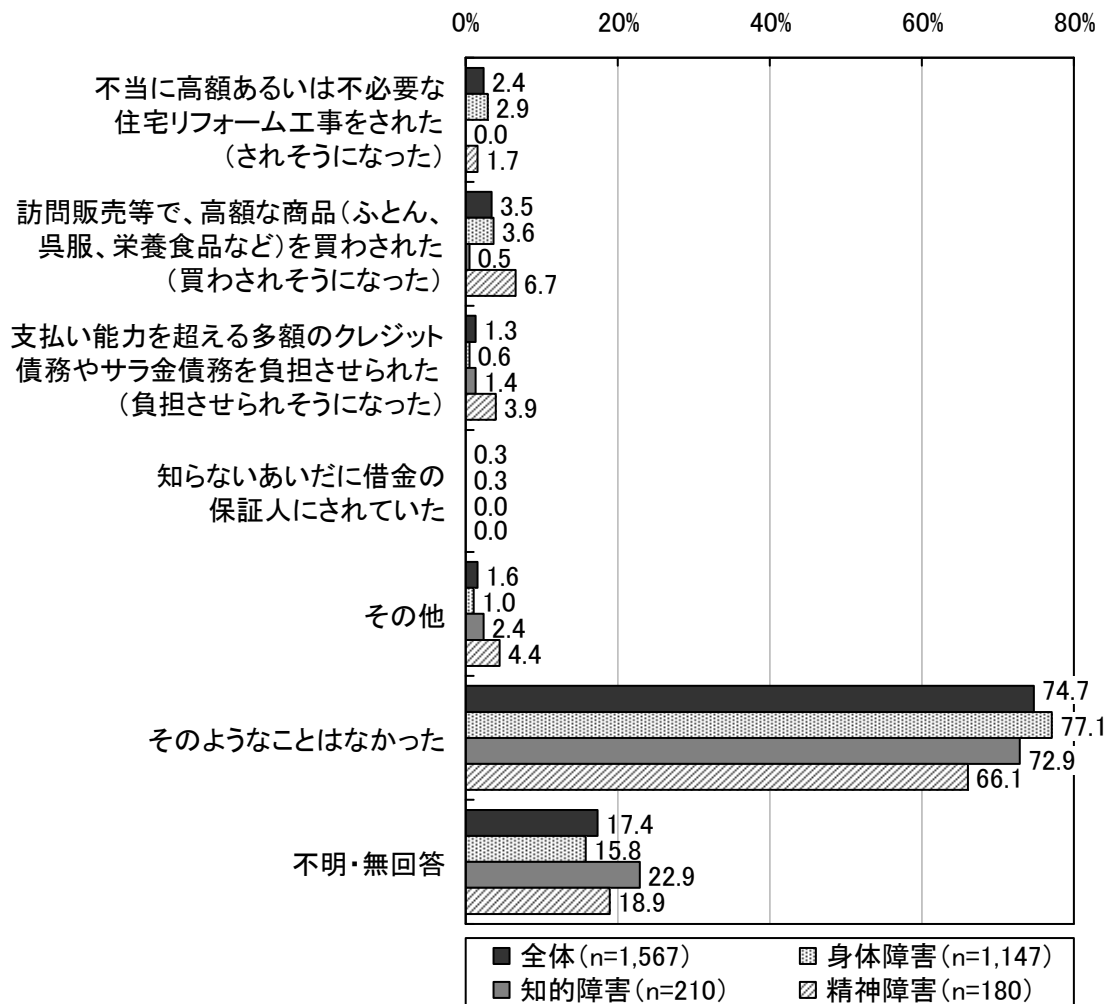
	n数	医療費が 多くかか る	施設の利 用料等の 負担が大 きい	診療してく れる身近 な医療機 関が少な い	まわりの 人の理解 が少な い	休日の過 ごし方	親なきあ とのこと	その他	特にない	不明・無 回答	
年齢別											
知的障害	10歳未満	24	4.2	4.2	4.2	25.0	20.8	54.2	4.2	25.0	4.2
	10～19歳	51	11.8	5.9	17.6	37.3	35.3	66.7	2.0	7.8	2.0
	20～29歳	35	5.7	0.0	14.3	34.3	22.9	74.3	2.9	5.7	5.7
	30～39歳	49	4.1	2.0	2.0	18.4	20.4	69.4	4.1	6.1	8.2
	40～49歳	30	10.0	0.0	0.0	3.3	6.7	46.7	0.0	13.3	26.7
	50～59歳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	42.9
	60～69歳	6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	n数	介助をして くれる 人がいない	教育を受 けられな い	気軽に相 談するこ ろがない	訓練を受 けられな い	住宅で使 いにくいと ころがあ る	働く場が 少ない	収入が少 ない	本人・家 族の結婚 について	外出しにく い
年齢別										
精神障害	10歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	20～29歳	23	8.7	4.3	39.1	13.0	8.7	43.5	56.5	13.0
	30～39歳	49	6.1	4.1	28.6	8.2	2.0	42.9	46.9	24.5
	40～49歳	56	1.8	3.6	12.5	3.6	0.0	26.8	39.3	17.9
	50～59歳	24	4.2	4.2	12.5	8.3	4.2	16.7	25.0	8.3
	60～69歳	15	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	6.7	20.0	0.0
	70～79歳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	n数	医療費が多 くかかる	施設の利 用料等の 負担が大 きい	診療してく れる身近 な医療機 関が少な い	まわりの 人の理解 が少ない	休日の過 ごし方	親なきあ とのこと	その他	特にな い	不明・無 回答
年齢別										
精神障害	10歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	100.0	33.3	0.0
	20～29歳	23	30.4	0.0	17.4	43.5	13.0	60.9	8.7	4.3
	30～39歳	49	30.6	2.0	8.2	32.7	12.2	61.2	10.2	4.1
	40～49歳	56	28.6	1.8	17.9	23.2	5.4	57.1	12.5	3.6
	50～59歳	24	16.7	0.0	16.7	12.5	0.0	20.8	0.0	20.8
	60～69歳	15	33.3	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	13.3	0.0
	70～79歳	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問21 あなたは、悪質な訪問販売（住宅リフォーム工事やふとん・呉服の販売）などの消費者被害・トラブルにあったことはありますか。（複数回答）

消費者被害・トラブルにあった経験の有無についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「そのようなことはなかった」が最も高くなっています。



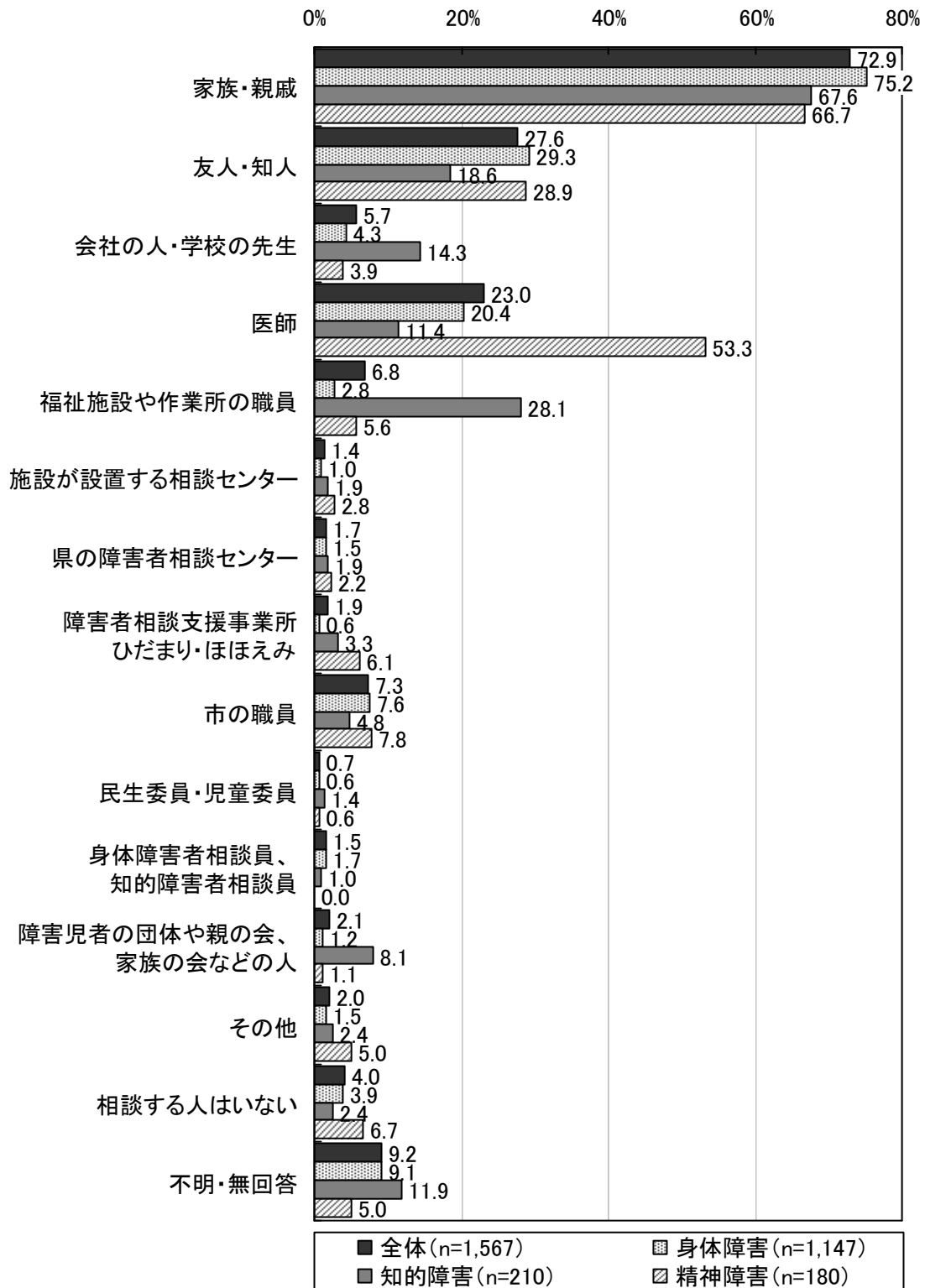
問 21-1 消費者被害・トラブルにあわれた方は、そのときどのような対応をされたかお書きください。（自由回答）

【主なご意見】

- ・消費生活センターに相談し、解決した。（9件）
- ・はっきりと断った。（3件）
- ・買わざるを得ない状況になった／仕方なく支払いをした。（3件）
- ・警察の生活安全課と弁護士で解決した。（2件）

問22 悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(複数回答)

悩みや困ったことの相談相手についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「家族・親戚」が6割から7割を超えて最も高くなっています。また、知的障害では「福祉施設や作業所の職員」、精神障害では「医師」がそれぞれ他の障害よりも比較的高くなっています。

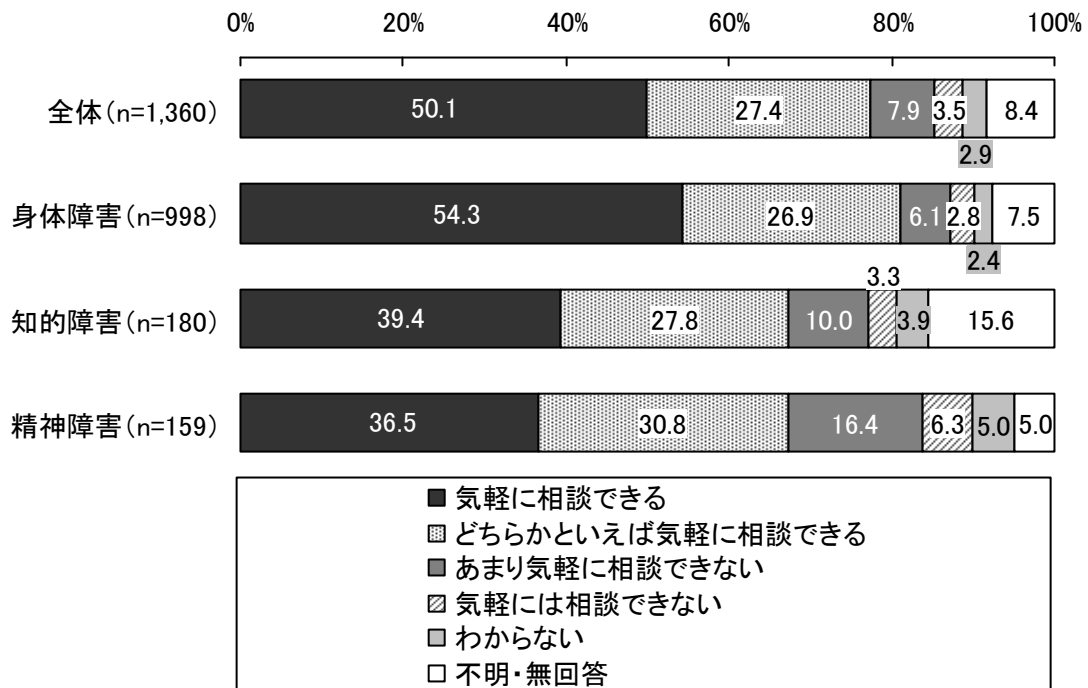


【問 22 で「相談相手がいる」と回答した人】

問22-1 問 22 で答えた相談相手には、気軽に相談できますか。(単数回答)

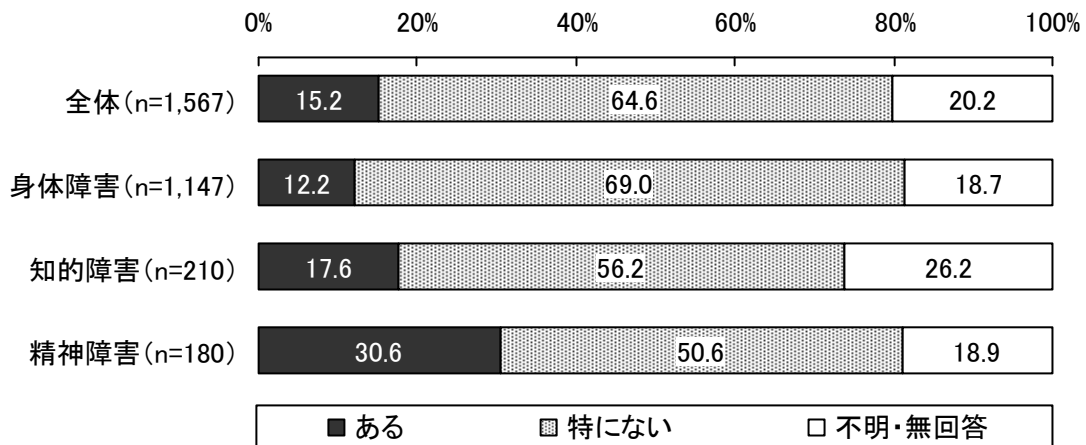
相談相手に気軽に相談できるかについてみると、全体では「気軽に相談できる」が 50.1% と最も高く、「気軽に相談できる」と「どちらかといえば気軽に相談できる」を合わせた『気軽に相談できる』が 8 割弱を占めています。

障害種別でみると、身体障害では「気軽に相談できる」が 5 割を超えて最も高くなっているものの、知的障害と精神障害では「気軽に相談できる」が 4 割弱となっており、「あまり気軽に相談できない」と「気軽には相談できない」を合わせた『気軽に相談できない』が 1 割を超えています。



問23 現在、障害に関することなどで相談したいことはありますか。(単数回答)

現在、障害に関することなどで相談したいことの有無についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「特にない」が「ある」を上回っています。しかし、精神障害では「ある」が他の障害よりも高く3割を超えています。



問 23-1 それはどのようなことですか。差し支えなければ具体的にお書きください。(自由回答)

【主なご意見】

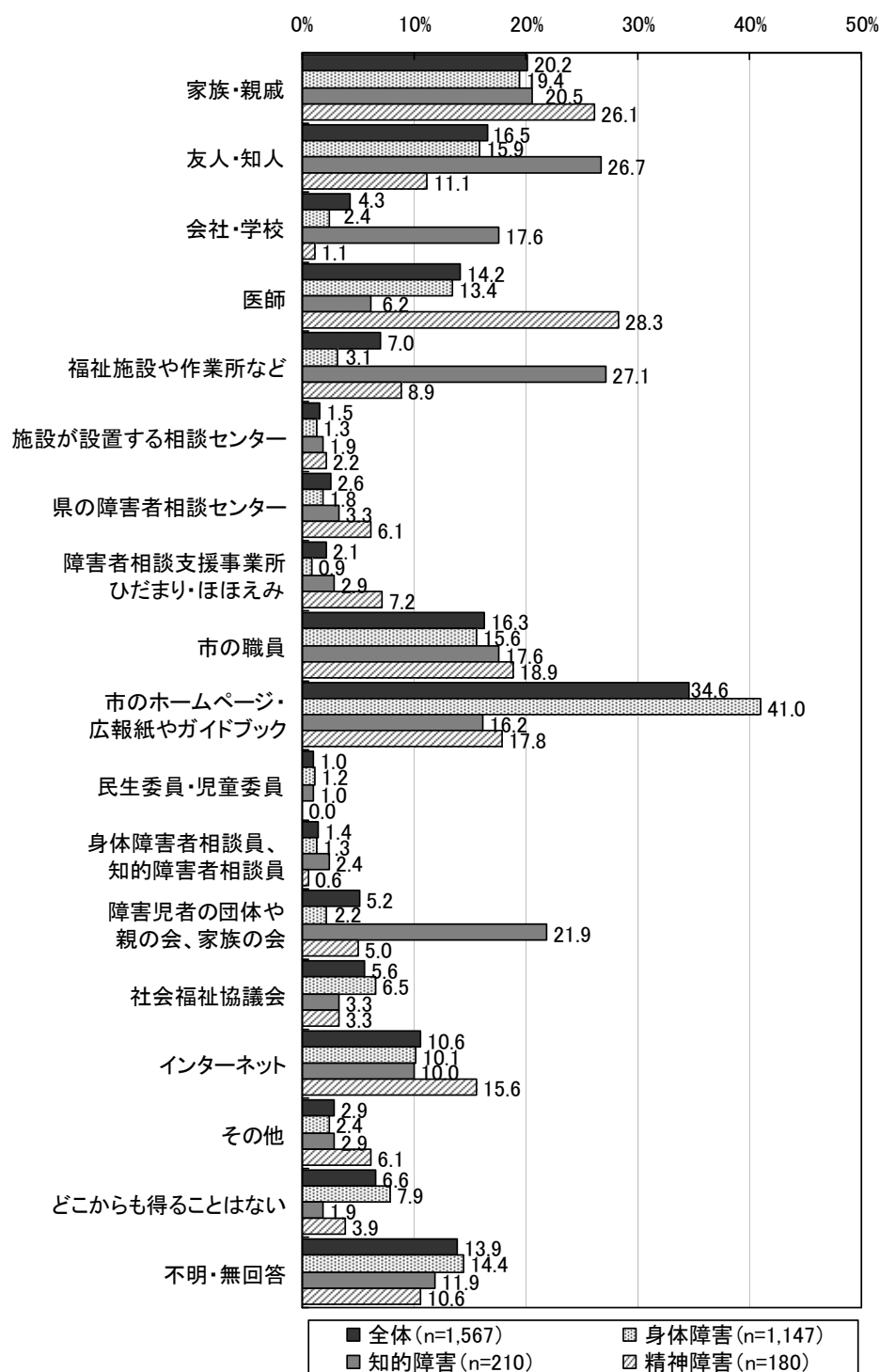
- ・ 病気・障害について (29 件)
- ・ 就労・雇用について (17 件)
- ・ 医療・リハビリについて (14 件)
- ・ 経済的負担について (7 件)
- ・ 将来の生活について (7 件)
- ・ 障害等に対する周りの理解について (7 件)
- ・ 移動・外出について (6 件)
- ・ 教育・療育について (5 件)
- ・ 補助具等について (4 件)
- ・ 介護・介助について (4 件)
- ・ 結婚について (3 件)

6 福祉情報などの入手状況についてうかがいます

問24 あなたやご家族は、福祉に関する情報をどこから得ますか。(複数回答)

福祉に関する情報源についてみると、全体では「市のホームページ・広報紙やガイドブック」が34.6%と最も高く、次いで「家族・親戚」が20.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害では「市のホームページ・広報紙やガイドブック」、知的障害では「福祉施設や作業所など」、精神障害では「医師」がそれぞれ最も高くなっています。また、知的障害では「友人・知人」「会社・学校」「障害児者の団体や親の会、家族の会」で他の障害よりも比較的高くなっています。

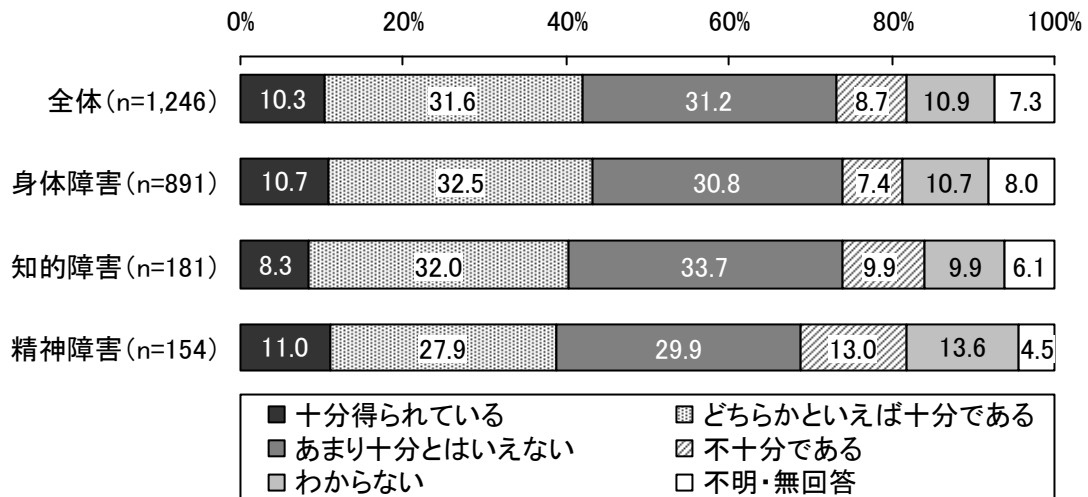


【問 24 で「情報の入手先がある」と回答した人】

問24-1 上記の入手先からは、情報が十分得られていると感じますか。(単数回答)

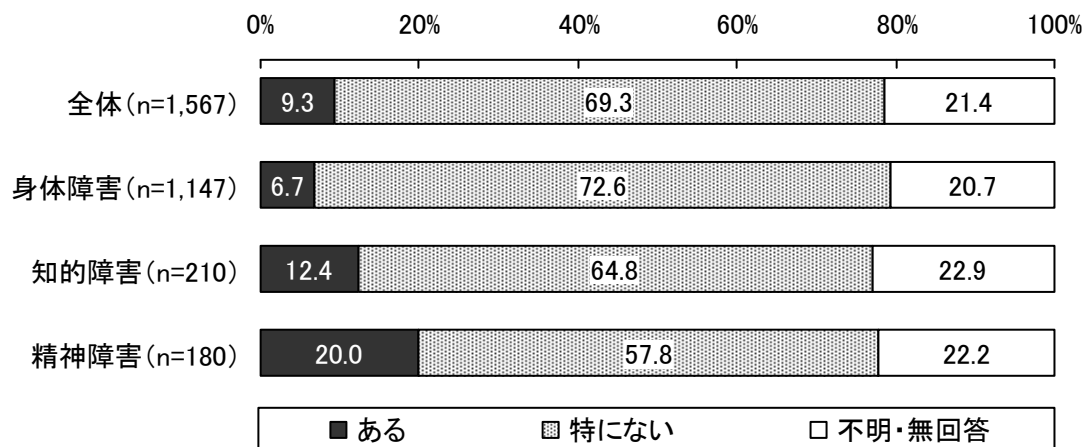
情報を十分に得られているかについてみると、全体では「どちらかといえば十分である」が31.6%と最も高く、次いで「あまり十分とはいえない」が31.2%と僅差になっています。

障害種別でみると、身体障害では僅差で「どちらかといえば十分である」が最も高くなっているものの、知的障害と精神障害では「あまり十分とはいえない」が最も高く、特に精神障害では「不十分である」が1割を超えています。



問25 あなたが生活する上で、福祉サービスなど障害者のための情報が得られないで困ったことがありますか。(単数回答)

福祉サービスなどの情報が得られないで困ったことの有無についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「特にない」が「ある」を上回っています、しかし、知的障害や精神障害では「ある」が1割から2割と他の障害よりも比較的高くなっています。



問 25-1 それはどのようなときでしたか。差し支えなければ具体的にお書きください。(自由回答)

【主なご意見】

- ・支援が受けられることを知らなかったために、多額の医療費を支払っていた／手当を受けられなかった／サービスを受けていなかった。(19件)
- ・免除されるものや手当など自治体によって、内容が異なる。(6件)
- ・困った時の窓口が分からない。役所に問い合わせても情報が不十分。(4件)
- ・特別支援学校卒業後の進路。特に福祉施設や作業所について。(3件)
- ・自分は障害者として、どの程度・どのようなサービスを受けられるかについて。(2件)

問 25-2 現在または今後どのような情報がほしいですか。趣味、スポーツ、教育、旅行など具体的にお書きください。(自由回答)

【主なご意見】

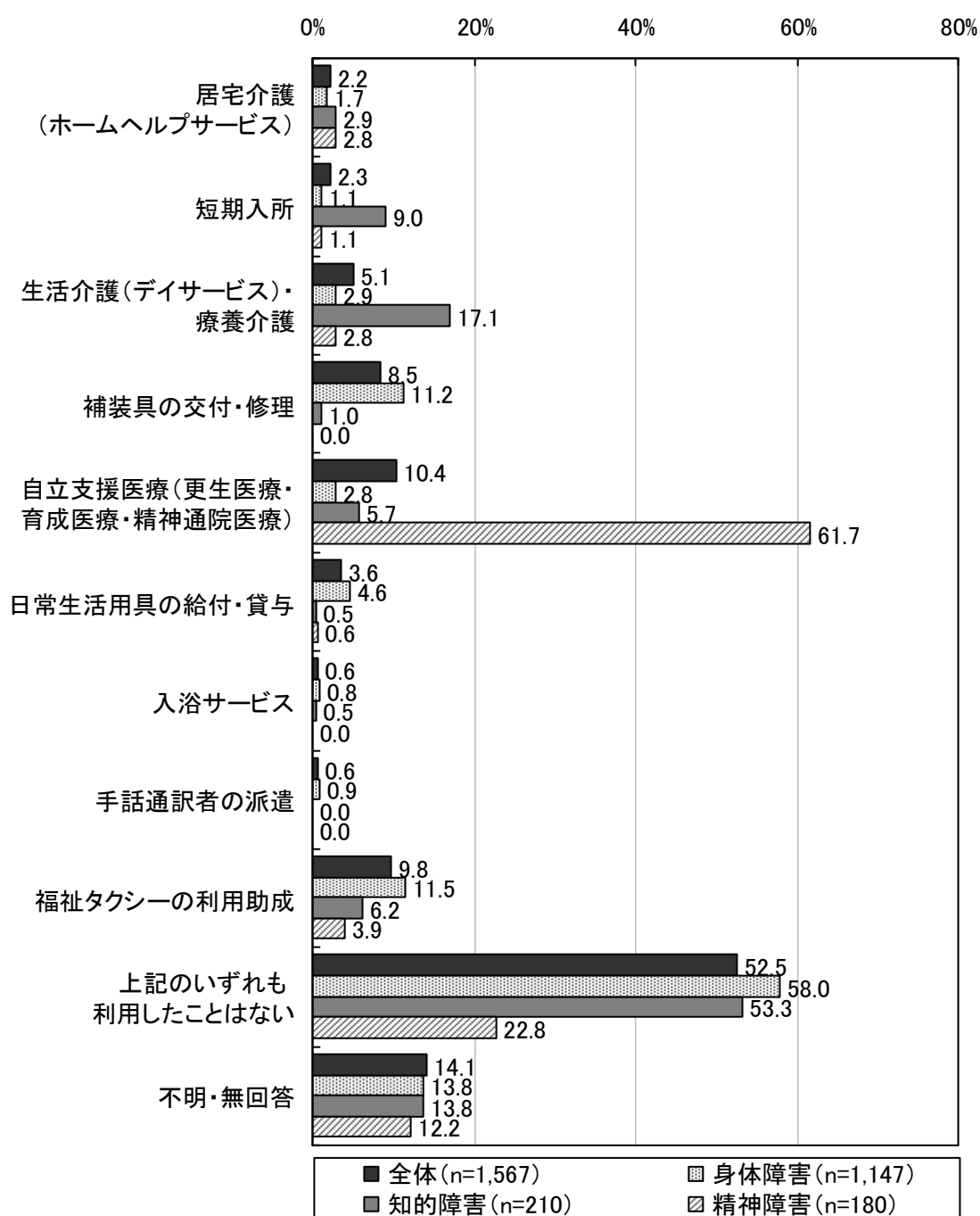
- ・余暇活動（旅行、スポーツ、趣味等）について（18件）
- ・就労・雇用について（7件）
- ・福祉サービスについて（6件）
- ・経済的支援について（4件）
- ・医療について（3件）
- ・交流活動（同じ悩みをもつ仲間等との）について（2件）
- ・法制度の改正について（2件）

7 サービスの利用状況や利用意向についてうかがいます

問26 あなたは、最近1年の間に、次のサービスを利用したことがありますか。(複数回答)

最近1年間のサービスの利用経験についてみると、全体では「上記のいずれも利用したことはない」が52.5%と半数を超えて最も高くなっています。

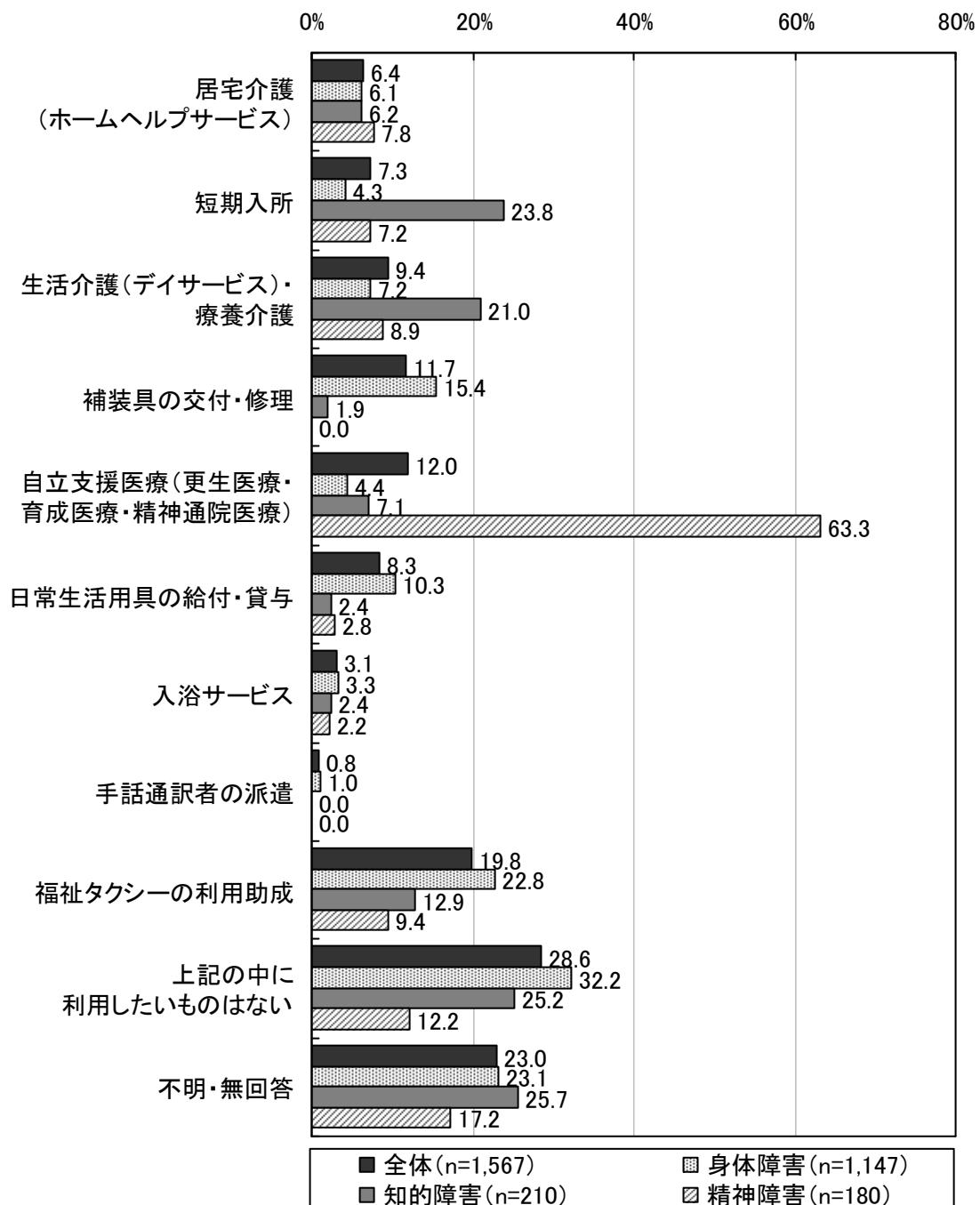
障害種別でみると、身体障害と知的障害では「上記のいずれも利用したことはない」が半数を超えて最も高くなっているものの、精神障害では「自立支援医療（更生医療・育成医療・精神通院医療）」が6割を超えて最も高くなっています。また、身体障害では「補装具の交付・修理」、知的障害では「短期入所」や「生活介護（デイサービス）・療養介護」が他の障害よりも比較的高くなっています。



問27 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。(複数回答)

今後のサービスの利用意向についてみると、全体では「上記の中に利用したいものはない」が28.6%と最も高くなっています。

障害種別でみると、身体障害と知的障害では「上記の中に利用したいものはない」が最も高くなっているものの、精神障害では「自立支援医療（更生医療・育成医療・精神通院医療）」が6割を超えて最も高くなっています。また、身体障害では「補装具の交付・修理」や「福祉タクシーの利用助成」、知的障害では「短期入所」や「生活介護（デイサービス）・療養介護」が他の障害よりも比較的高くなっています。



問 28 問 27 のサービス以外に、利用してみたいと思うサービス、このようなサービスがあったらよいと思うサービスがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

【主なご意見】

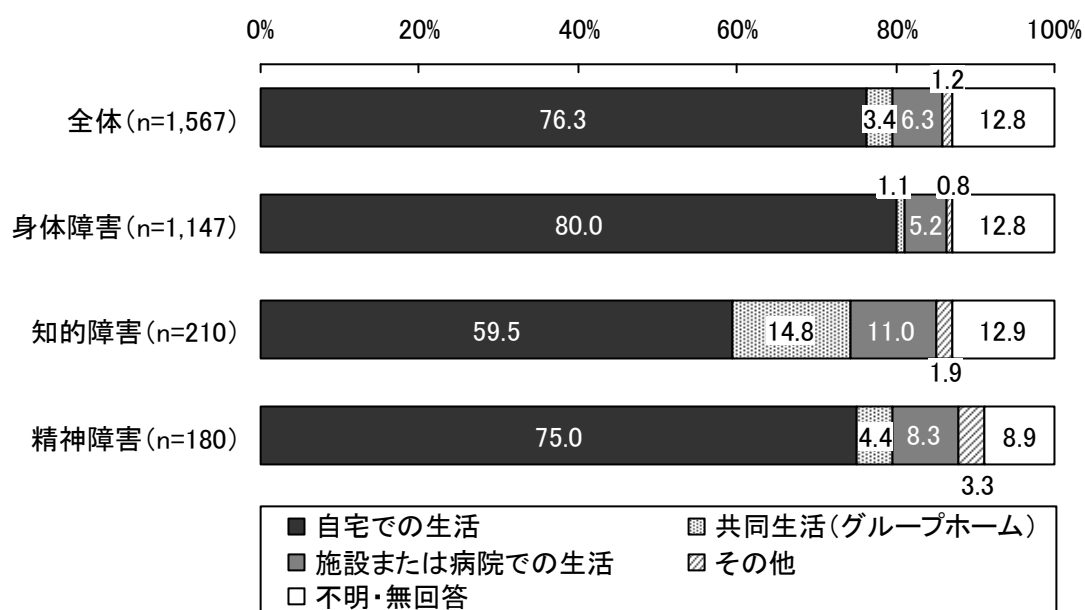
- ・ガソリン券の発行。(6件)
- ・障害者でもリハビリができるサービス。(6件)
- ・等級に関係なく、タクシーを無料で利用できるサービス券。(5件)
- ・電車等の利用料割引サービス。(5件)
- ・通院時等、外出時の支援サービス(付き添い)。(4件)
- ・市内のバスを無料で利用できるサービス。(3件)
- ・高速料金の助成。(3件)
- ・観劇・映画等への入場料が割引になるサービス。(2件)
- ・ガイドヘルプサービス。(2件)
- ・病院内での介助サービス。(2件)
- ・障害児が利用できるサービス。(2件)
- ・宿泊サービス。(2件)
- ・放課後、学童保育のような、障害のある子どもが遊べる施設があること。(2件)
- ・家に来て話し相手などしてくれると助かる。(2件)

8 今後、希望する暮らし方についてうかがいます

問29 今後、どのような生活形態を望みますか。(単数回答)

今後希望する生活形態についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「自宅での生活」が最も高くなっています。しかし、身体障害や精神障害では「自宅での生活」が7割から8割と高くなっているのに対し、知的障害では約6割に止まり、「共同生活(グループホーム)」や「施設または病院での生活」がともに1割を超えています。

年齢別・家族の有無別・介助の有無別についてみても、ほぼすべての項目で「自宅での生活」が高くなっています。



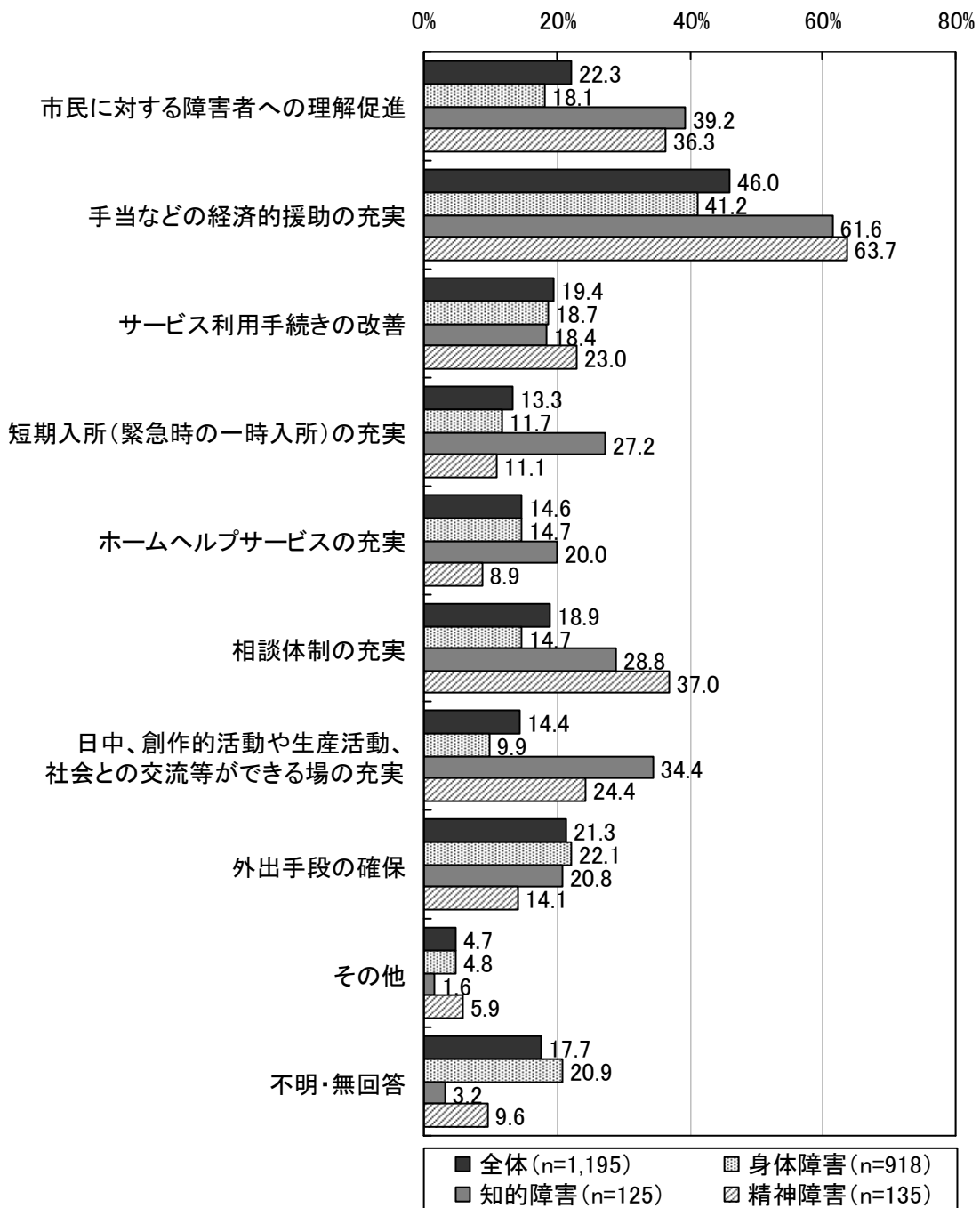
■年齢別／家族の有無別／介助の有無別

	n数	自宅での生活	共同生活(グループホーム)	施設または病院での生活	その他	不明・無回答
年齢別						
身体障害	10歳未満	13	92.3	0.0	7.7	0.0
	10～19歳	20	85.0	5.0	0.0	10.0
	20～29歳	16	81.3	6.3	0.0	0.0
	30～39歳	73	79.5	5.5	5.5	1.4
	40～49歳	65	80.0	0.0	9.2	0.0
	50～59歳	135	83.0	0.0	3.7	0.0
	60～69歳	328	83.2	0.9	4.6	0.6
	70～79歳	340	76.2	0.9	5.0	0.9
	80歳以上	134	75.4	0.7	8.2	0.7
年齢別						
知的障害	10歳未満	24	79.2	12.5	0.0	0.0
	10～19歳	51	76.5	11.8	0.0	7.8
	20～29歳	35	62.9	17.1	8.6	0.0
	30～39歳	49	46.9	22.4	18.4	0.0
	40～49歳	30	46.7	3.3	16.7	0.0
	50～59歳	7	14.3	42.9	28.6	0.0
	60～69歳	6	50.0	0.0	33.3	0.0
	70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別						
精神障害	10歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	23	69.6	8.7	8.7	8.7
	30～39歳	49	73.5	2.0	6.1	4.1
	40～49歳	56	85.7	0.0	7.1	1.8
	50～59歳	24	70.8	8.3	12.5	0.0
	60～69歳	15	53.3	13.3	13.3	6.7
	70～79歳	6	66.7	16.7	16.7	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族の有無別						
全体	ひとり暮らし	144	59.0	3.5	14.6	2.8
	同居家族あり	1,380	79.3	3.6	5.0	1.1
介助の有無別						
全体	介助なし	847	82.5	1.7	3.3	1.4
	介助あり	619	72.2	6.0	10.5	1.0

【問 29 で「1 自宅での生活」と回答した人】

問29-1 在宅での生活を続けるための条件は何ですか。(複数回答)

在宅での生活を続けるための条件についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「手当などの経済的援助の充実」が最も高く、特に知的障害と精神障害では6割を超えています。また、知的障害では「市民に対する障害者への理解促進」「短期入所（緊急時の一時入所）の充実」「ホームヘルプサービスの充実」「相談体制の充実」「日中、創作的活動や生産活動、社会との交流等ができる場の充実」、精神障害では「市民に対する障害者への理解促進」「相談体制の充実」が比較的高くなっています。



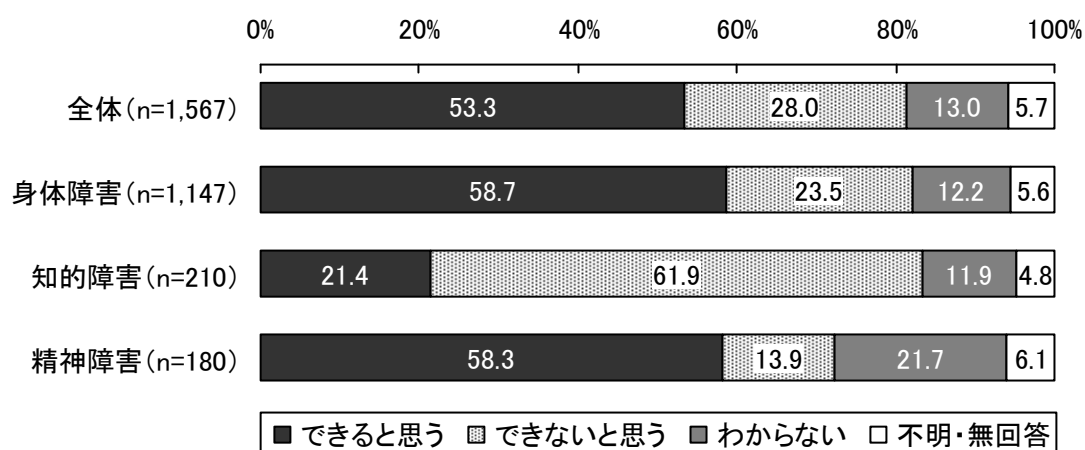
9 災害時の対応についてうかがいます

問30 火事や地震等の災害時に、あなたは一人で避難できますか。(単数回答)

災害時に一人で避難できるかについてみると、全体では「できると思う」が5割を超えて最も高くなっています。

障害種別でみると、身体障害と精神障害では「できると思う」が5割を超えて最も高くなっているものの、知的障害では「できないと思う」が6割を超えて最も高くなっています。また、精神障害では「わからない」が2割を超えています。

年齢別にみると、20歳未満で「できないと思う」、20歳以上で「できると思う」が高くなっています。また、家族の有無別ではひとり暮らし、同居家族ありともに「できると思う」が半数以上となっています。介助の有無別では介助なしが「できると思う」、介助ありが「できないと思う」が高くなっています。



■年齢別／家族の有無別／介助の有無別

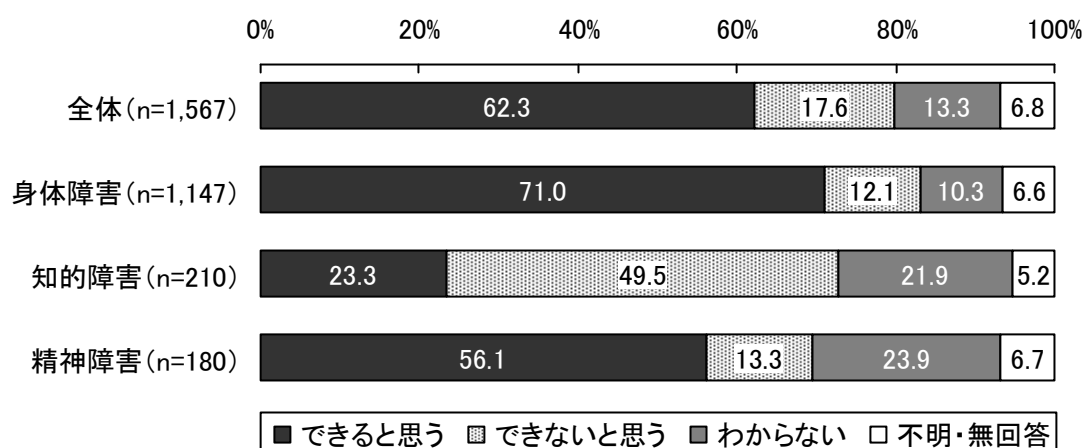
		n数	できると思う	できないと思う	わからない	不明・無回答
年齢別						
全体	10歳未満	37	0.0	94.6	5.4	0.0
	10～19歳	76	23.7	60.5	13.2	2.6
	20～29歳	76	42.1	32.9	19.7	5.3
	30～39歳	177	42.4	37.9	15.3	4.5
	40～49歳	154	48.1	31.8	14.9	5.2
	50～59歳	167	61.7	18.6	10.8	9.0
	60～69歳	351	62.7	19.7	13.1	4.6
	70～79歳	347	61.7	18.4	12.7	7.2
	80歳以上	136	53.7	28.7	11.0	6.6
家族の有無別						
全体	ひとり暮らし	144	53.5	23.6	12.5	10.4
	同居家族あり	1,380	53.7	28.3	13.4	4.6
介助の有無別						
全体	介助なし	847	74.6	8.6	12.0	4.7
	介助あり	619	22.6	56.5	15.0	5.8

問31 火事等の非常時に、あなたは周囲の人に知らせることができますか。(単数回答)

非常時に周囲の人に知らせることができるかについてみると、全体では「できると思う」が6割を超えて最も高くなっています。

障害種別でみると、「できると思う」が身体障害では7割、精神障害では5割半ばと最も高くなっているものの、知的障害では「できないと思う」が約5割と最も高くなっています。また、知的障害と精神障害では「わからない」が2割を超えています。

年齢別にみると、20歳未満で「できないと思う」、20歳以上で「できると思う」が高くなっています。また、家族の有無別と介助の有無別についてみると、すべての項目で「できると思う」が高くなっています。



■年齢別／家族の有無別／介助の有無別

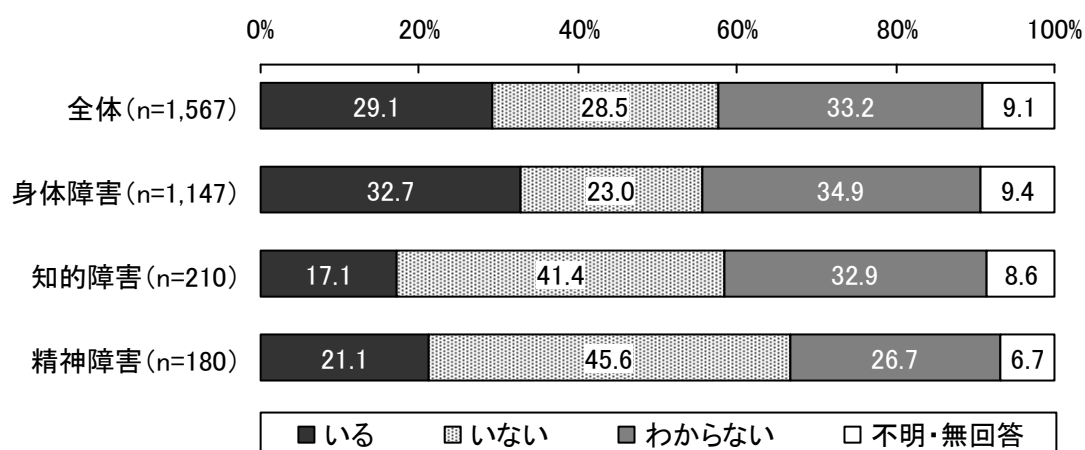
		n数	できると思う	できないと思う	わからない	不明・無回答
年齢別						
全体	10歳未満	37	10.8	75.7	13.5	0.0
	10～19歳	76	30.3	38.2	28.9	2.6
	20～29歳	76	46.1	26.3	22.4	5.3
	30～39歳	177	43.5	32.2	19.8	4.5
	40～49歳	154	57.1	21.4	16.2	5.2
	50～59歳	167	74.3	9.0	7.8	9.0
	60～69歳	351	75.8	12.5	7.1	4.6
	70～79歳	347	68.9	7.2	13.5	10.4
	80歳以上	136	66.9	13.2	11.0	8.8
家族の有無別						
全体	ひとり暮らし	144	57.6	17.4	11.1	13.9
	同居家族あり	1,380	63.4	17.9	13.6	5.1
介助の有無別						
全体	介助なし	847	80.4	5.3	9.0	5.3
	介助あり	619	37.8	35.5	19.4	7.3

問32 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなただを助けてくれる人はいますか。(単数回答)

家族が不在の場合や一人暮らしの場合に、近所に助けてくれる人の有無についてみると、全体では「わからない」が 33.2%と最も高く、「いる」と「いない」が約3割でほぼ同程度となっています。

障害種別でみると、身体障害では全体と同様の傾向となっているものの、知的障害と精神障害では「いない」がそれぞれ4割を超えて最も高く、次いで「わからない」が高くなっています。

年齢別にみると、50歳未満で「いない」が最も高く、50歳以上で「いる」「わからない」がほぼ同数となっています。また、家族の有無別にみるとひとり暮らしで「いる」、同居家族ありでは「わからない」となっています。介助の有無別にみると介助なしで「わからない」、介助ありで「いない」が高くなっています。



■年齢別／家族の有無別／介助の有無別

		n数	いる	いない	わからない	不明・無回答
年齢別						
全体	10歳未満	37	16.2	45.9	35.1	2.7
	10～19歳	76	28.9	46.1	21.1	3.9
	20～29歳	76	14.5	40.8	36.8	7.9
	30～39歳	177	18.1	42.9	30.5	8.5
	40～49歳	154	18.8	42.2	33.1	5.8
	50～59歳	167	29.3	26.9	32.9	10.8
	60～69歳	351	34.2	23.4	34.2	8.3
	70～79歳	347	34.9	18.2	35.7	11.2
	80歳以上	136	36.8	16.2	34.6	12.5
家族の有無別						
全体	ひとり暮らし	144	33.3	28.5	25.7	12.5
	同居家族あり	1,380	28.8	29.2	34.3	7.7
介助の有無別						
全体	介助なし	847	34.8	22.1	35.3	7.8
	介助あり	619	21.8	38.6	30.5	9.0

問33 東日本大震災が発生した時災害の情報は何かから知りましたか。(単数回答)

震災が発生した時の災害情報の入手源についてみると、全体及び3障害すべてにおいて「テレビ」が最も高くなっています。また、知的障害では「家族・友人・地域住民」が2割と他の障害よりも比較的高くなっています。

